

目的

将来的に他圏域に横展開していくことを見据え、大塚圏域における地域住民の24時間在宅ケア体制の実現に向けた方策について検討する。

方法

全体的な意見交換
あるいは
グループワーク(2グループに分ける)

検討内容

第1回で、区の「在宅ケアビジョン」や、大塚地域の「地域ケア会議」で在宅医療をテーマに検討した事例、客観的なデータ等を参考に課題等の意見出しを行った後、

- ①切れ目なく在宅医療と在宅介護を提供するために必要なこと
- ②地域住民への普及啓発の方法
- ③地域で必要な社会資源

等について、3回のワーキンググループを通じて一定の方向性を整理する。

第1回(8月)

現状(区のデータ・地域ケア会議)を踏まえた課題等の意見出し

第2回(10月~11月)

第1回の意見を踏まえ
方向性の概要検討

第3回(1月~2月)

第2回の検討内容を踏まえ
方向性を整理

第1回ワーキンググループについて

区の現状を把握するために使用する資料

- 文京区における「24時間在宅ケアビジョン」
- 客観的データ
 - ・地域包括ケア「見える化」システムを活用した地域分析(在宅医療に関する23区データ)
 - ・主な死因別の死亡者数推移
 - ・死亡場所別の死亡者数推移
- 地域ケア会議の事例

これらの資料から把握できる情報を踏まえ、
・切れ目なく在宅医療・介護を提供する体制の構築に向けた課題
・医療や介護等の公的サービス以外に地域で必要な社会資源
などについて、意見交換を実施する。